

第34回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

- | | |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 平成9年10月1日（水）
14：00～16：00 |
| 2. 場 所 | 委員会会議室 |
| 3. 議 題 | (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 熱帯降雨観測衛星(TRMM)/技術試験衛星Ⅶ型(ETS-Ⅶ)/H-IIロケット6号機の打上げについて
(3) 宇宙実験用小型ロケット(TR-ⅠA)6号機の打上げ結果について
(4) ドイツ宇宙政策の概要について
(5) 地球観測プラットフォーム技術衛星(ADEOS)の機能停止に係る原因究明等について |
| 4. 資 料 | 委34-1 第33回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委34-2 熱帯降雨観測衛星(TRMM)/技術試験衛星Ⅶ型(ETS-Ⅶ)/H-IIロケット6号機の打上げについて
委34-3 宇宙実験用小型ロケット(TR-ⅠA)6号機の打上げ結果について
委34-4 ドイツ宇宙政策の概要
委34-5 地球観測プラットフォーム技術衛星(ADEOS)の機能停止に係る原因究明等について（報告）（案） |

委 34-1

第33回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨（案）

1. 日時 平成9年9月24日（水）
 14:00～15:30
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 谷垣委員長挨拶及び懇談
 (2) 前回議事要旨の確認について
 (3) 固体推進薬衝突実験代替地について
 (4) 通信衛星3号b（CS-3b）の運用停止について
 (5) 第1回「宇宙環境利用に関する公募地上研究制度」の選定
 テーマについて
 (6) 技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）搭載通信機器の動作異常
 について
 (7) 宇宙実験用小型ロケット（TR-1A）6号機の打上げ日について
4. 資料 委33-1 第32回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委33-2 固体推進薬衝突実験代替地について
 委33-3 通信衛星3号b（CS-3b）の運用停止について
 委33-4 第1回「宇宙環境利用に関する公募地上研究制度」
 の選定テーマについて
 委33-5 技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）搭載通信機器の動
 作異常について
 委33-6 宇宙実験用小型ロケット（TR-1A）6号機の打上げ日に
 ついて

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長

谷 垣 禎 一

宇宙開発委員会委員長代理

山 口 開 生

宇宙開発委員会委員

末 松 安 晴

〃

長 柄 喜一郎

〃

秋 葉 鏖二郎

関係省庁

通商産業省機械情報産業局次長

河 野 博 文（代理）

郵政大臣官房技術総括審議官

甕 昭 男（ 〃 ）

事務局

科学技術庁研究開発局長

青 江 茂

科学技術庁長官官房審議官

大 熊 健 司

科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

千 葉 貢 他

6. 議事

(1) 谷垣委員長挨拶及び懇談

谷垣委員長より、就任の挨拶が行われた後、委員長及び各委員の間で、我が国の宇宙開発の推進等について意見交換が行われた。また、委員長より、行政改革や財政構造改革が国の重要課題として掲げられるなか、宇宙開発は夢のある分野であり、今後、委員の方々と相談の上、宇宙開発を推進していきたい旨の発言があった。

ここで、谷垣委員長が退席し、以後の議事は山口委員長代理の司会進行のもと行われた。

(2) 前回議事要旨の確認について

第32回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）（資料委33-1）が確認された。

(3) 固体推進薬衝突実験代替地について

宇宙開発事業団宇宙輸送システム本部伊藤宇宙輸送システム技術部長より、資料委33-2に基づき、苫小牧での固体推進薬衝突実験が困難になったことから代替実験場所を検討した結果、オーストラリアのウーメラ地区を最適候補

補地として選定したとの説明があった。

これに関し、委員より、オーストラリア側と日本側の実験実施における作業分担及び方法、国内で実験を行う場合との爆発音による影響の相違等について質問があり、オーストラリア側の関係者とのこれまでの友好関係から交渉は問題なく進む見通しである等の説明があった。

(4) 通信衛星3号b (CS-3b) の運用停止について

宇宙開発事業団軌道上技術開発システム本部 古川副本部長より、資料委33-3に基づき、通信衛星3号b (CS-3b) を静止軌道から上昇させた後、平成9年10月24日10時に停波し、運用を終了すること等の説明があった。

これに関し、委員より、通信出力の9年間の劣化度合い、衛星の管理・運用体制、残燃料を使用して静止軌道より高度上昇させた後の衛星の状態、衛星のデブリ防止基準等について質問があった。

(5) 第1回「宇宙環境利用に関する公募地上研究制度」の選定テーマについて

宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部 吉村宇宙環境利用研究センター長、福田研究推進課長より、資料委33-4に基づき、第1回「宇宙環境利用に関する公募地上研究制度」の選定テーマについて説明があった。

これに関し、委員より、JEM与圧部の第一次選定テーマと重複して提案された件数、選定テーマの新規性、海外からの応募状況、テーマ選択率を約3割とした妥当性、今後の本研究制度の展開等について質問があった。

(6) 技術試験衛星VII型 (ETS-VII) 搭載通信機器の動作異常について

宇宙開発事業団軌道上技術開発システム本部 古川副本部長、山形ETS-VIIプロジェクトマネージャより、資料委33-5に基づき、ETS-VIIと米国データ中継衛星システム (TDRSS) との適合性確認試験の際、チェイサ衛星の通信機器A系の出力が大幅に低下した異常について説明があった。

これに関し、委員より、修理作業に要する期間、通信機器の製造メーカ、当該機器のこれまでの動作試験の経緯等について質問があった。

(7) 宇宙実験用小型ロケット(TR-1A)6号機の打上げ日について

宇宙開発事業団宇宙輸送システム本部 中野打上・運用室長より、資料委33-6に基づき、TR-1A6号機の総合動作試験において、動翼用アクチュエータ内部の電源電圧異常が発生したこと、不具合部品を予備品と交換した後、各系とも状態が良好であり、9月25日に打ち上げる予定であること等について説明があった。

これに関し、委員より、交換部品の種類、内部電源の用途、今回の異常状態が打上げに及ぼす影響の有無、射場の湿度による影響の有無等について質問があった。

以上